

〈目標〉

- ◎10年間(2010年～2019年)に福岡県出身(ユース年代在籍)者をFIFAW杯本大会に5名送り出す。(2000年～2009年は0名)
- ①10年間(2010年～2019年)に福岡県出身(ユース年代在籍)者をU17・U20ワールドユース、オリンピック本大会に15名を送り出す。(2000年～2009年は5名)
- ②10年間(2010年～2019年)に福岡県少年(U16)チーム・女子チームを国民体育大会で優勝させる。(2000年～2009年の最高順位はベスト16)
- ③10年間(2010年～2019年)に福岡県代表チームを15・18JFA主催全国大会で優勝させる。(2000年～2009年の最高順位は、U15:準優勝、U18:3位)

(めざすサッカースタイル)
人とボールが動くアクションサッカー
 ～アグレッシブでスピーディーな福岡県らしいサッカー～

◎選手全員がゲームに関わり続ける

【攻撃】

- ・ポジションをとる
- ・常に数的優位を作り出す
- ・守備のポジションの選手でも効果的に攻撃参加をする
- ・攻撃の優先順位を共有する
- ・ゴールへの強い意欲を持つ(常にゴールをねらう)

【守備】

- ・ポジションング
- ・前線からの守備
- ・コンパクト
- ・リスク管理

【切り替え】

- ・ボールを失ったらすぐにボールを奪い返しに行く
- ・相手のボールを奪ったら全員がアクションを起こす
- ・セットプレーを早くする、早くさせない

◎基本の徹底→自動化

「パスしたら動く」、「ボールに寄る」、「周りを観る」、「ボールを奪いに行く」、「ボールを常に動かす」、「動きながらのプレー」、「広がりを持つ」、「パスを強く」、「ボールを要求する」、「ギャップを探す」・・・

◎質の追求→より多くの選択肢を持つ

「シンクロナイゼーション」、「動きの質の追求(スペースの共有)」、「テクニックの質を追求」

カテゴリ	育成コンセプト	戦術	技術	フィジカル	生活習慣・人間性(メンタル)	コミュニケーション	コーチングの留意点
U16	<p>個を生かす</p> <p>大人のサッカーの入り口「攻守ともにアグレッシブなサッカー」 「これまで育成してきた力を発揮する」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・優先順位(ダイレクトプレーの意識) ・常にボールを追い越す動きを感じる ・3ラインをしっかり意識する ・ボールを中心に守備をする ・グループの中で与えられた役割を果たす 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールに直結する技術 ・周りに(相手・味方)を観れる ・スピーディーでバワフルな技術 ・キックの種類(ミドル・シュート・ロング) ・ヘディング ・プレッシャーの中で安定した技術の発揮 ・ゴール前での精度、強さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・筋力(最低でも自分の体重は支えることができる) ・持久力 ・スピード系、パワー系トレーニングの導入 ・トレーニング、栄養、休養、サッカーができるコンディショニングづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己責任 ・自己管理能力 ・日本人のよさ(理解力・集中力・勤勉さ・協調性・敏捷性)を発揮する 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意思や意図を伝え、相手の意思や意図を受け止める ・チームの勝利のために何がベストかを「対話」できる ・事実を受け止める力、自分の責任を感じる力、自分自身と対話できる力を日々の生活の中から身につけさせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己責任がとれる、自己分析ができる指導 ・チームとしてまとまりをつくる ・闘争集団にする ・常に100%の攻守 ・ハイプレッシャーの攻防を展開する中で、精度が高まるようにコーチング ・ポジション別のトレーニング
U14	<p>個を磨く</p> <p>サッカー選手としての基本の徹底 『11人全員がフットボールプレーヤー』～状況に応じて攻守に関わり続けるプレーヤーの育成～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカー理解(プレーの原則、ゲームにどう関わるか)を高める ・攻守の切り替え ・積極的な守備 ・味方プレーヤーに選択肢を与える ・意図を持った攻撃(組み立てる、崩す)、意図を持った守備(囲い込む、固まりをつくる) 	<ul style="list-style-type: none"> ・動きながらのパス&コントロール&観る ・柔軟なボールコントロール ・キックやコントロールの精度を上げる ・左右のキックの種類(カーブ・スライス・チップ等)を増やす(But ベースはインサイドキック) ・ヘディング ・持久力を伴った技術 ・シンプルな突破技術(ドリブル、パス) ・モデルシュート 	<ul style="list-style-type: none"> ・体幹TR ・走力(持久力)の向上 ・運動量を増やす ・アジリティを高める ・コーディネーションの維持 ・スピードの基礎 ・柔軟性 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生らしい生活態度 ・前向き、トライしようとする姿勢 ・挨拶、掃除、言葉遣い、返事、身だしなみ等 ・清く美しく ・感謝の気持ちをお忘れな 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを伝える責任がある自己表現 ・自分自身で考えて判断した意見を持っていること ・考える習慣、判断の習慣 	<ul style="list-style-type: none"> ・TR全体を盛り上げる ・身体にしみこませる ・前育成のこの時期はしつけである ・ススルかるのではなく、チャレンジしないことに対してしかる ・リアリティ、反復、運動量、判断、質の向上はあるか? ・うまくなりたいと思われているか、楽しませているか ・「～し」ではなく「～できる」ように導く ・試合と同じくらいのプレッシャーがあること ・考えながらプレーさせる(感覚的なプレーからの卒業) ・様々なポジションの経験(GKも含む) ・フルコートでのマンツーマンディフェンス
U12	<p>個を伸ばす</p> <p>土台づくり 「サッカーの楽しさを伝える(競技としての楽しさ・質を高める楽しさ)」 「5年後・10年後に活躍できる選手の育成」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールを要求する ・ボールに寄る ・パスしたら動く ・ボール保持者を助ける ・積極的なしかけ(on・off) ・取られたら取り返す ・守備のカバーリング ・ポジションのないサッカー ・ポジションプレー ・GKもフィールドプレーヤーの一員 	<ul style="list-style-type: none"> ・パーフェクトスキル(ドリブル、コントロール、パス、シュート、クロス、ヘディング) 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーション(安定性・可動性)、アジリティの向上 ・ボールとともに動き続ける力(有酸素持久力の向上) ・自分より大きい選手から奪う・奪われない力 	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは規則正しい家庭生活・学校生活 ・オフザピッチの重要性の徹底 ・素直で吸収力の高い選手の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・喜怒哀楽を出せる ・自己表現できる ・大きな声 ・元気良く ・励ます声 ・自己分析(振り返り) ・自分自身で判断するためのロジカルコミュニケーションスキル 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉を大切に(的確で質の高い言葉) ・プレー時間、プレー回数の確保 ・選手を取り巻くサッカー環境・文化の向上 ・「今日ががんばる」ではなく「いつも通り・当たり前」のレベルを高める ・GKコーチによる専門的トレーニングも取り入れる ・サッカーをさせる(トレーニングは複雑にしない) ・育成のサッカーはしつけ ・様々なポジションの経験(GKも含む) ・基本の習慣化(いつでもどこでも 質の高いサッカー)
U10	<p>個を刺激する</p> <p>「ゴールデンエイジ」 「パーフェクトスキルを目指す」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スモールサイドゲーム(4vs4)を活用し、Tactical Awareness(サッカーのイメージ、戦術の気づき)の導入 ・全員攻撃 ・全員守備 ・グループで有利になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール4～8人に1個(グループの中で協力して解決) ・ボールフィーリング(左右差異なく) ・パス&コントロール ・ドリブル ・シュート(強く) ・ヘディング ・ボールを奪う 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら全身を使った様々な動きづくりを行ない、コーディネーション能力を養う 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立への準備(自分でできることを増やす) ・あきらめない ・負けず嫌い ・感謝の気持ちを伝える ・他律期を活用した働きかけ(積極性、自己犠牲性、リーダーシップ) ・規則正しい生活習慣(食事、睡眠、勉強) ・リスペクト 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己主張をする ・自己表現をする ・元気な挨拶 ・ロジカルコミュニケーション(ピッチ内でのコミュニケーションツールのひとつとして) 	<ul style="list-style-type: none"> ・褒める(具体的に) ・活動量を求める ・Quality&Funの追求 ・オファサイズ、課題の設定(成功と失敗のバランス) ・動きの多様性 ・ロジカルコミュニケーション ・個別性→フィードバック ・シンクロコーチング→フリーズ ・No line.No laps.No lecture ・ポジティブな雰囲気づくり ・子どもの発達段階を理解する。
U8	<p>個の目覚め</p> <p>「Fun&Quality」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スモールサイドゲーム(3vs3,4vs4)を活用し、Tactical Awareness(サッカーのイメージ、戦術の気づき)を促す ・全員攻撃 ・全員守備 ・少人数(2人の関係)で協力して解決 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール2人に1個(2人の関係の中で協力して解決) ・ボールフィーリング(左右差異なく) ・パス&コントロール ・ドリブル ・シュート(強く) 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら全身を使った様々な動きづくりを行ない、コーディネーション能力を養う 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分でできることを増やす ・あきらめない ・負けず嫌い ・感謝の気持ちを伝える ・他律期を活用した働きかけ(積極性、自己犠牲性、リーダーシップ) ・規則正しい生活習慣(食事、睡眠) ・リスペクト 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己主張をする ・自己表現をする ・元気な挨拶 ・ロジカルコミュニケーション(ピッチ外での習慣を身につける) 	<ul style="list-style-type: none"> ・褒める(具体的に) ・活動量を求める ・Quality&Funの追求 ・動きの多様性 ・ロジカルコミュニケーション ・個別性→フィードバック ・シンクロコーチング ・No line.No laps.No lecture ・スタンディングの理解 ・ポジティブな雰囲気づくり ・子どもの発達段階を理解する。
U6	<p>サッカーとの良い出会い</p> <p>「最初に出会うスポーツとして最高の楽しさを伝える」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スモールサイドゲーム(3vs3～4vs4)を活用 ・全員攻撃 ・全員守備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール1人1個 ・ボールフィーリング(ストレスにならない程度に左右差異なく) ・コントロール ・ドリブル ・キック 	<ul style="list-style-type: none"> ・少しずつ自分でできることは自分でする ・あきらめない ・負けず嫌い ・他律期を活用した働きかけ(積極性、自己犠牲性、リーダーシップ) ・規則正しい生活習慣(食事、睡眠) ・リスペクト 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己主張をする ・自己表現をする ・元気な挨拶 ・ロジカルコミュニケーション(ピッチ内でのコミュニケーションツールのひとつとして) 	<ul style="list-style-type: none"> ・褒める(具体的に) ・活動量を求める ・Quality&Funの追求 ・動きの多様性 ・ロジカルコミュニケーション ・個別性→フィードバック ・子どもの目標になって接する ・シンクロコーチング ・No line.No laps.No lecture ・ポジティブな雰囲気づくり ・子どもの発達段階を理解する。 	